

美と幸運を呼ぶ生き方の絶対条件

SAY

働く女性の知的・美的生き方マガジン

9

[月刊セイ] 550YEN
SEPTEMBER 2006

石田衣良in沖縄

「魅せる女」への 7つの基礎知識

写真を楽しみながらココロをリフレッシュ!
フォトセラピー講座

なりたい自分になる!
働く女性のキャリア・アップ計画

国仲涼子のビューティ
レッスン
仕事が忙しくても
キレイな人の生活術

ナマで食べれば健康美人!
酵素でヤせる!
ローフード・ダイエット

表紙の人
木村多江

小池百合子

新連載
草野満代

好評連載
村上龍
フランソワ・デュ・ボワ
倉田真由美
原田真裕美
猪原博子

美と幸運を呼ぶ 生き方の絶対条件

自分時間を2倍にする
日常習慣&時間管理

品のよい大人の仕事作法

結果を急ぐ人、待てる人。
チャンスに好かれるのは?

この夏、浪費クセに終止符

“もったいない精神”は
心とサイフと
地球を救う!

編集部直通 HOT LINE 03-3202-1212

あなたの人生を変えるヒント

美と幸運を呼ぶ生き方の絶対条件

理想の実現を急ぎ、焦るあまり、ムリをしている女性が多い

大内悦子さん

P8「結果を急ぐ人、待てる人。チャンスに好かれるのはどっち?」

倉田真由美さん
反省つて、失敗をプラスに転じる
きつかけになるものだけど、
的外れの反省をしたり、

反省が足りていない人つて、
何度も同じあやまちをくり返すんだよね

P16「私が出会った素敵な女たち」

河合薰さん
楽しくないものはイヤなんです。
楽しめていない自分つて、
どんどんバスになっちゃうような気がして…

P8「結果を急ぐ人、待てる人。チャンスに好かれるのはどっち?」

重田紬美子さん
マナーを2つに分けるとしたら、
「恥をかかないためのマナー」と
「恥をかかせないマナー」があると思つ

P27「品のいい大人の仕事作法」

「美しくありたい!」女性として生まれれば当然の思いです。

「幸運をつかみたい!」人間であれば誰しもそう願います。

しかし、そうであるために何をすればいいのかを、

具体的に知っている人は意外に少ないのではないでしょうか。

今月は各界の著名人の方々に、

美と幸運を手にするための条件を伺っていきました。

意外にも、古風な日本女性の姿にその鍵があるようです!

カーリカさん
人生って、少しずつ上向いていくほうがいい。
40代で成功して、あとはディフェンスの人生を送るより、
50代で花開いたほうが楽しいと思う

P8「結果を急ぐ人、待てる人。チャンスに好かれるのはどっち?」

小池百合子さん
何かひとつを続けて
取り組んでいると、期せずして、
次のプラトーン(台地)が
向うからやってくる気がします

P8「結果を急ぐ人、待てる人。チャンスに好かれるのはどっち?」

庄司裕子さん
仕事もプライベートも含めた10年後、
20年後の自分を
シミュレーションしてみることが、
本物のキャリアデザイン

乙葉さん
急げて人生を生きていたら、
きっとその程度の
結果しか
出せない気がします

P20「もつたない精神はサイフと心と地球を救う!」

**美しい着こなしの人は、仕事も
きめ細かなイメージを与えます**

藤井佐和子さん

P27「品のいい大人の仕事作法」

越川禮子さん
ニューヨークでは
通勤時はスニーカーで会社につくと
ハイヒールに履き替える女性が多い。
でも、日本では会社につくと
つっかけに履き替える。
プロ根性の差を感じます

P27「品のいい大人の仕事作法」

自分らしい「キャリアアンカー」を持つことで、あなたは必ず大海に出られるのです



「人生に波はあるのは当然のこと。いまの厳しい状況は、必ず将来役に立つはず。だから急いで結論を出さなくていい」

そう思うだけでも、人生という川を焦らずに進むのがラクになると思いませんか？

誰でも就職後、何年かたつとある種の『壁』を感じるもので

庄司祐子さんも同様でしたが、

このとき、「待つこと、考へることをせずに慌てて転職した」という自らの失敗体験から、転機には立ち止まり、時間をかけて考えるべきと語ります。

「キャリアを重ねていくときに必ずいくつかの岐路が待ち受けいますが、急いだり焦つたりせず、ドリフト(漂流)しながらゆっくり熟考することが大切。自分の過去を見直す時間もつことは、キャリア形成では欠かせないことです」

では、熟考することで、いつたい何が見つかるのでしようか

——それは、「あなたが本当にやりたいこと」です。仮に一度はそこから離れたとしても、最

後にそこに戻ってくる、そんな『キャリアンカー(人生の錨)』と呼ぶべきものこそ、私たちが人生という川を進みながら見つけるべきものなのです。

「最近ではキャリア＝仕事ではなく、人生そのものと解釈するケースが増えてきています。女

性は仕事以外にも結婚や出産など大きなイベントがありますが、仕事もプライベートも含めた10年後、20年後の自分を時間をかけてシミュレーションしてみると

ことが、本物のキャリアデザインだと思いますよ」(庄司さん)

仕事にコアがあればすべてがつながる！

国際線のフライトアテンダントから気象予報士、ニュース番組でのお天気キャスター、そして大学院進学と、つねに憧れのキャリアの最先端を走っている印象の河合薰さん。その姿からは、『待つ』という言葉は、やや遠い印象もありますが…。

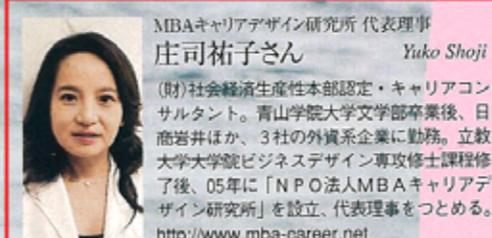
——「何も考えずに続けようと思つていた」というフライトアテンダント職も、3年を過ぎると、胸の中にモヤモヤした気持ちが湧き上がったという河合さん。

いつも心にすき間を抱えながら、フライトを統けている自分に嫌悪感をもつこともあったそうで

河合さんにとっては、『自分の言葉で伝える仕事』という意味で、コア(核)が同じ仕事だったといいます。

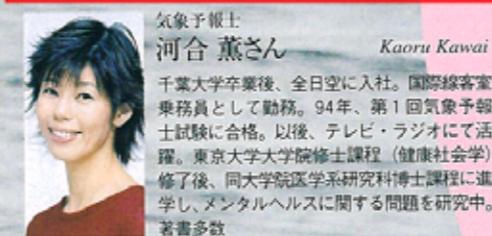
「私は何でも楽しくないものはイヤなんです。楽しめていないことがきつかけになり退職、気象予報士試験を受けることに。それにしても、フライトアテンダントと気象予報士…一見まるで別世界の仕事のようですが、

お話をうかがった方



MBAキャリアデザイン研究所 代表理事
庄司祐子さん Yuko Shoji

(財)社会経済生産性本部認定・キャリアコンサルタント。青山学院大学文学部卒業後、日商岩井ほか、3社の外資系企業に勤務。立教大学大学院ビジネスデザイン専攻修士課程修了後、05年に「NPO法人MBAキャリアデザイン研究所」を設立、代表理事をつとめる。<http://www.mba-career.net>



気象予報士
河合 薫さん Kaoru Kawai

千葉大学卒業後、全日空に入社。国際線客室乗務員として勤務。94年、第1回気象予報士試験に合格。以後、テレビ・ラジオにて活躍。東京大学大学院修士課程(健康社会学)修了後、同大学院医学系研究科博士課程に進学し、メンタルヘルスに関する問題を研究中。著書多数